



## **Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS FabricPath コマンド リファレンス**

Cisco NX-OS Release 5.x

初版 : 2011 年 12 月

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意**  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/))をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知られていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS FabricPath コマンド リファレンス  
© 2011 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.



## CONTENTS

### はじめに vii

対象読者 vii

サポートされるスイッチ vii

Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ vii

マニュアルの構成 viii

表記法 viii

関連資料 ix

リリース ノート ix

コンフィギュレーション ガイド x

メンテナンスおよび操作ガイド x

インストレーション ガイドおよびアップグレード ガイド x

ライセンス ガイド x

コマンド リファレンス x

テクニカル リファレンス xi

エラー メッセージおよびシステム メッセージ xi

トラブルシューティング ガイド xi

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート xi

### 新機能および変更された機能に関する情報 xiii

Cisco NX-OS リリースの新機能および変更された機能に関する情報 xiii

Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1)の新機能および変更された機能に関する情報 xiii

### A コマンド FP-1

authentication-check (FabricPath) FP-2

authentication key-chain (FabricPath) FP-3

authentication-type (FabricPath) FP-4

### C コマンド FP-5

clear fabricpath isis adjacency FP-6

clear fabricpath isis statistics FP-7

clear fabricpath isis traffic FP-8

### D コマンド FP-9

description (FabricPath) FP-10

**F コマンド** FP-11

- fabricpath domain default FP-12
- fabricpath graceful-merge FP-13
- fabricpath isis authentication key-chain FP-14
- fabricpath isis authentication-check FP-15
- fabricpath isis authentication-type FP-16
- fabricpath isis csnp-interval FP-18
- fabricpath isis hello-interval FP-19
- fabricpath isis hello-multiplier FP-20
- fabricpath isis hello-padding FP-21
- fabricpath isis lsp-interval FP-22
- fabricpath isis metric FP-23
- fabricpath isis retransmit-interval FP-24
- fabricpath isis retransmit-throttle-interval FP-25
- fabricpath load-balance FP-26
- fabricpath switch-id (FabricPath) FP-28
- fabricpath switch-id (vPC) FP-30
- fabricpath timers FP-31
- fabricpath topology FP-33
- feature fabric-binding FP-34
- feature-set fabricpath FP-35

**H コマンド** FP-37

- hostname dynamic (FabricPath) FP-38

**I コマンド** FP-39

- install feature-set fabricpath FP-40

**L コマンド** FP-41

- log-adjacency-changes (FabricPath) FP-42
- lsp-gen-interval (FabricPath) FP-43
- lsp-mtu (FabricPath) FP-44

**M コマンド** FP-45

- maximum-paths (FabricPath) FP-46
- max-lsp-lifetime (FabricPath) FP-47
- mode (FabricPath) FP-48

**R コマンド FP-51**

reference-bandwidth (FabricPath) FP-52

root-priority (FabricPath) FP-53

**S コマンド FP-55**

spf-interval FP-56

switchport mode fabricpath FP-57

system default switchport fabricpath FP-59

**show コマンド FP-61**

show fabricpath conflict FP-62

show fabricpath ftag FP-63

show fabricpath isis FP-64

show fabricpath isis adjacency FP-66

show fabricpath isis database FP-67

show fabricpath isis ftag FP-69

show fabricpath isis hostname FP-70

show fabricpath isis interface FP-71

show fabricpath isis ip mroute FP-72

show fabricpath isis ip redistribute mroute FP-73

show fabricpath isis protocol FP-74

show fabricpath isis route FP-76

show fabricpath isis rrm FP-77

show fabricpath isis spf-log FP-78

show fabricpath isis srm FP-79

show fabricpath isis ssn FP-80

show fabricpath isis statistics FP-81

show fabricpath isis switch-id FP-82

show fabricpath isis topology summary FP-83

show fabricpath isis traffic FP-84

show fabricpath isis trees FP-85

show fabricpath isis vlan-range FP-86

show fabricpath load-balance FP-87

show fabricpath load-balance multicast FP-88

show fabricpath load-balance unicast FP-89

show fabricpath route FP-91

show fabricpath switch-id FP-93

show fabricpath system-id FP-94  
show fabricpath timers FP-95  
show fabricpath topology FP-96  
show feature-set FP-98  
show mroute FP-99  
show multicast trees FP-101  
show running-config fabricpath FP-102

T コマンド FP-105  
topology FP-106



## はじめに

---

ここでは、『Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS FabricPath コマンドリファレンス』の対象読者、構成、および表記法について説明します。また、関連マニュアルの入手方法についても説明します。

この前書きは、次の項で構成されています。

- 「対象読者」 (P.vii)
- 「サポートされるスイッチ」 (P.vii)
- 「マニュアルの構成」 (P.viii)
- 「表記法」 (P.viii)
- 「関連資料」 (P.ix)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.xi)

## 対象読者

このマニュアルは、Cisco NX-OS デバイスを設定および管理する経験豊富なユーザの方を対象としています。

## サポートされるスイッチ

ここでは、次の内容について説明します。

- 「Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ」 (P.vii)

## Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ

表 1 に、Cisco Nexus 5500 プラットフォームでサポートされる Cisco スイッチを示します。



(注)

これらのスイッチの詳細については、次の URL にある『Cisco Nexus 5500 Platform and Cisco Nexus 5000 Platform Hardware Installation Guide』を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd_products_support_series_home.html)

表 1 サポートされる Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ

スイッチ	説明
Cisco Nexus 5548P スイッチ	Cisco Nexus 5548P スイッチは、Cisco Nexus 5500 プラットフォームの最初のスイッチです。このスイッチは、1 Rack-Unit (1 RU) の 10 ギガビット イーサネットおよび Fibre Channel over Ethernet (FCoE) スイッチであり、最大 960 Gbps スループットおよび最大 48 ポートを提供します。
Cisco Nexus 5596P スイッチ	Cisco Nexus 5596P スイッチは、Top-of-Rack の 10 ギガビット イーサネットおよび FCoE スイッチであり、最大 1920 ギガビット スループットおよび最大 96 ポートを提供します。

## マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章タイトル	説明
「新機能および変更された機能に関する情報」	新しい Cisco NX-OS ソフトウェア リリースの新機能および変更された機能について説明します。
「A コマンド」	A で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「C コマンド」	C で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「D コマンド」	D で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「F コマンド」	F で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「H コマンド」	H で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「I コマンド」	I で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「L コマンド」	L で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「M コマンド」	M で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「R コマンド」	R で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「S コマンド」	S で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。
「show コマンド」	Cisco NX-OS FabricPath の <b>show</b> コマンドについて説明します。
「T コマンド」	T で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

## 表記法

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x   y   z}	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。

[ x   y   z ]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	スイッチに表示される端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## 関連資料

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダのマニュアルは、次の URL から入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd_products_support_series_home.html)

次に、Cisco Nexus 5000 シリーズおよび Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダに関連するマニュアルを示します。

## リリース ノート

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 2000 Series Release Notes』

『Cisco Nexus 5000 Series Switch Release Notes』

## コンフィギュレーション ガイド

- 『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1)』
- 『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) and Release 4.2(1)N2(1)』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fibre Channel over Ethernet Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Layer 2 Switching Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Multicast Routing Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Quality of Service Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS SAN Switching Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Management Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Unicast Routing Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series Switch NX-OS Software Configuration Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series Fabric Manager Configuration Guide, Release 3.4(1a)』
- 『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide, Release 6.x』
- 『Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender Software Configuration Guide』

## メンテナンスおよび操作ガイド

- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Operations Guide』

## インストレーション ガイドおよびアップグレード ガイド

- 『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 5500 Platform Hardware Installation Guide』
- 『Cisco Nexus 2000 Series Hardware Installation Guide』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Software Upgrade and Downgrade Guide, Release 4.2(1)N1(1)』
- 『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Nexus 5000 Series Switches and Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extenders』

## ライセンス ガイド

- 『Cisco NX-OS Licensing Guide』

## コマンド リファレンス

- 『Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS FabricPath コマンド リファレンス』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fabric Extender Command Reference』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fibre Channel Command Reference』
- 『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fundamentals Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Layer 2 Interfaces Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Multicast Routing Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS QoS Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Management Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS TrustSec Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Unicast Routing Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Virtual Port Channel Command Reference』

## テクニカル リファレンス

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender MIBs Reference』

## エラー メッセージおよびシステム メッセージ

『Cisco NX-OS System Messages Reference』

## トラブルシューティング ガイド

『Cisco Nexus 5000 Troubleshooting Guide』

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。





## 新機能および変更された機能に関する情報

---

この章では、『Cisco Nexus 5000 シリーズ NX-OS FabricPath コマンド リファレンス』の新機能および変更された機能に関するリリース固有の情報を示します。このマニュアルの最新バージョンは、次のシスコ Web サイトから入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/prod\\_command\\_reference\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/prod_command_reference_list.html)

この Cisco NX-OS リリースに関する追加情報を確認するには、次のシスコ Web サイトから入手できる『Cisco Nexus 5000 Series Switch Release Notes』を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/prod_release_notes_list.html)

## Cisco NX-OS リリースの新機能および変更された機能に関する情報

ここでは、次の内容について説明します。

- 「Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報」 (P.xiii)

## Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

表 1 では、Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 1 Release 5.1(3)N1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

機能	説明	変更されたリリース	参照先
Cisco FabricPath	この機能は、Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチにだけ追加されました。	5.1(3)N1(1)	<a href="#">「A コマンド」</a> <a href="#">「C コマンド」</a> <a href="#">「D コマンド」</a> <a href="#">「F コマンド」</a> <a href="#">「H コマンド」</a> <a href="#">「I コマンド」</a> <a href="#">「L コマンド」</a> <a href="#">「M コマンド」</a> <a href="#">「R コマンド」</a> <a href="#">「S コマンド」</a> <a href="#">「show コマンド」</a> <a href="#">「T コマンド」</a>



## A コマンド

---

この章では、A で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# authentication-check (FabricPath)

受信プロトコル データ ユニット (PDU) の認証チェックをイネーブルにするには、**authentication-check** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**authentication-check**

**no authentication-check**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

イネーブル

## コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、受信 PDU の認証チェックをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
switch(config)# fabricpath domain default  
switch(config-fabricpath-isis)# authentication-check  
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# authentication key-chain (FabricPath)

FabricPath デバイス間の認証キーチェーンを設定するには、**authentication key-chain** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**authentication key-chain** *auth-key-chain-name*

**no authentication key-chain** *auth-key-chain-name*

## 構文の説明

*keychain-name*      認証キーチェーン。最長で英数字 63 文字です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

hello プロトコル データ ユニットの認証にパスワードを割り当てるには、**authentication key-chain** コマンドを使用します。一度に IS-IS インターフェイスに適用される認証キーチェーンは 1 つだけです。別の **authentication** コマンドを設定すると、1 番目のコマンドは上書きされます。**authentication** コマンドを使用して、インターフェイス レベルではなく、IS-IS のインスタンス全体に認証を設定できます。

キーチェーンの詳細については、『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Configuration Guide』を参照してください。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、エッジデバイス認証のための認証キーチェーン スtring を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# authentication key-chain fabrickeys
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# authentication-type (FabricPath)

認証タイプを設定するには、**authentication-type** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
authentication-type {cleartext | md5}
```

```
no authentication-type {cleartext | md5}
```

## 構文の説明

<b>cleartext</b>	クリアテキストの認証方式を指定します。
<b>md5</b>	Message Digest (MD; メッセージダイジェスト) 5 認証を指定します。

## コマンドデフォルト

イネーブル

## コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

インターフェイスの hello プロトコル データ ユニット (PDU) の認証タイプを設定するには、**authentication-type** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、クリアテキストの認証を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# authentication-type cleartext
switch(config-fabricpath-isis)#
```

次に、Message Digest (MD; メッセージダイジェスト) 5 認証を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# authentication-type md5
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。



## C コマンド

---

この章では、C で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# clear fabricpath isis adjacency

FabricPath Layer 2 Intermediate-System to Intermediate-System (IS-IS) 隣接状態をクリアするには、`clear fabricpath isis adjacency` コマンドを使用します。

```
clear fabricpath isis adjacency [ * | ethernet module/slot | port-channel
port_channel_number | system-id sid]
```

## 構文の説明

<b>*</b>	(任意) すべてのインターフェイスの IS-IS 隣接を指定します。
<b>ethernet</b>	(任意) イーサネットインターフェイスの IS-IS 隣接を指定します。
<i>module/slot</i>	(任意) モジュールとスロット番号。モジュールの範囲は 1 ~ 255 で、スロットは 1 ~ 128 です。
<b>port-channel</b>	(任意) ポートチャネルインターフェイスの IS-IS 隣接を指定します。
<i>port_channel_number</i>	(任意) ポートチャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
<b>system-id</b>	(任意) システム ID を指定します。
<i>sid</i>	(任意) XXXX.XXXX.XXXX の形式のシステム ID。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注)

\* 変数を入力してこのコマンドを入力すると、転送に影響を与え、トラフィックが中断することもあります。このコマンドはすべての隣接を破損してしまうからです。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

**例** 次に、FabricPath Layer 2 隣接状態をクリアする例を示します。

```
switch# clear fabricpath isis adjacency *
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# clear fabricpath isis statistics

すべての FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロトコル統計情報をクリアするには、**clear fabricpath isis statistics** コマンドを使用します。

**clear fabricpath isis statistics \***

構文の説明	* すべてのインターフェイスの IS-IS 隣接を指定します。
-------	------------------------------------

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---------------------------------------

例	次に、FabricPath IS-IS プロトコル統計情報をクリアする例を示します。 <pre>switch# clear fabricpath isis statistics * switch#</pre>
---	---

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# clear fabricpath isis traffic

Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トラフィック情報をクリアするには、**clear fabricpath isis traffic** コマンドを使用します。

```
clear fabricpath isis traffic [* | ethernet module/slot | port-channel
port_channel_number]
```

## 構文の説明

<b>*</b>	(任意) すべてのインターフェイスの IS-IS トラフィックを指定します。
<b>ethernet</b>	(任意) イーサネットインターフェイスの IS-IS トラフィックを指定します。
<i>module/slot</i>	(任意) モジュールとスロット番号。モジュールの範囲は 1 ~ 255、ポートの範囲は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel</b>	(任意) ポートチャネルインターフェイスの IS-IS トラフィックを指定します。
<i>port_channel_number</i>	ポートチャネル番号。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS トラフィック情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear fabricpath isis traffic *
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。



## D コマンド

---

この章では、D で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# description (FabricPath)

トポロジの説明を設定するには、**description** コマンドを使用します。

**description** *desc*

**no description** *desc*

## 構文の説明

*desc* ラインの説明。最大サイズは 80 バイトです。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、トポロジの説明を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch#(config)# description FabricPath Topology 50 Configuration
switch#(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
<b>default</b>	



## F コマンド

---

この章では、F で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# fabricpath domain default

グローバル FabricPath Layer 2 Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) コンフィギュレーション モードを開始するには、**fabricpath-domain default** コマンドを使用します。

## fabricpath-domain default

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、グローバル FabricPath Layer 2 IS-IS コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath graceful-merge

FabricPath のグレースフル マージ機能をディセーブルにするには、**fabricpath graceful-merge** コマンドを使用します。この機能を再度イネーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を入力します。

**fabricpath graceful-merge**

**no fabricpath graceful-merge**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

イネーブル

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、スイッチで FabricPath グレースフル マージをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath graceful-merge
switch(config)#
```

次に、スイッチで FabricPath グレースフル マージをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# no fabricpath graceful-merge
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature-set fabricpath</b>	スイッチで FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにします。
<b>show running-config fabricpath</b>	FabricPath の実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。

# fabricpath isis authentication key-chain

インターフェイスごとにパスワードを認証 hello プロトコル データ ユニット (PDU) に割り当てるには、**fabricpath isis authentication key-chain** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis authentication key-chain** *auth-key-chain-name*

**no authentication isis authentication key-chain** *auth-key-chain-name*

## 構文の説明

*auth-key-chain-name* 認証キーチェーン。最長で英数字 63 文字です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

hello プロトコル データ ユニットの認証でパスワードを割り当てるには、**authentication** コマンドを使用します。一度に IS-IS インターフェイスに適用される認証キーチェーンは 1 つだけです。別の **authentication** コマンドを設定すると、1 番目のコマンドは上書きされます。**authentication** コマンドを使用して、インターフェイス レベルではなく、IS-IS のインスタンス全体に認証を設定できます。

キーチェーンの詳細については、『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Configuration Guide』を参照してください。



(注)

レベル指定は必要ありません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、エッジ デバイス認証のための認証キーチェーン スtring を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/5
switch(config-if)# fabricpath isis authentication key-chain trees
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis authentication-check

インターフェイスごとに認証リンクステート パケット (LSP) プロトコル データ ユニット (PDU) をチェックするためのパスワードを割り当てるには、**fabricpath isis authentication-check** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis authentication-check**

**no fabricpath isis authentication-check**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

オン

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。



(注)

レベルの指定は不要です。

## 例

次に、受信 LSP PDU の認証をチェックする例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis authentication-check
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis authentication-type

インターフェイスごとにパスワードを Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 認証 hello Protocol Data Unit (PDU; プロトコル データ ユニット) に割り当てるには、**fabricpath isis authentication-type** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis authentication-type {cleartext | md5}**

**no fabricpath isis authentication-type {cleartext | md5}**

## 構文の説明

<b>cleartext</b>	クリアテキストの認証方式を指定します。
<b>md5</b>	Message Digest (MD; メッセージ ダイジェスト) 5 認証を指定します。

## コマンドデフォルト

イネーブル

## コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注)

レベル指定は必要ありません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、パスワードを割り当てるときにクリアテキスト認証を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis authentication-type cleartext
switch(config-if)#
```

次に、パスワードを割り当てるときに Message Digest (MD; メッセージ ダイジェスト) 5 認証を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis authentication-type md5
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show fabricpath isis</code>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis csnp-interval

インターフェイスごとに Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Complete Sequence Number PDU (CSNP) 間隔を秒単位で設定するには、**fabricpath isis csnp-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis csnp-interval** *seconds*

**no fabricpath isis csnp-interval** *seconds*

構文の説明	<i>seconds</i>	CSNP 間隔の値。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。
-------	----------------	--------------------------------

コマンド デフォルト	10 秒
------------	------

コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション モード
----------	--------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---------------------------------------

例	次に、CSNP 間隔値を設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z. switch(config)# interface ethernet 5/2 switch(config-if)# fabricpath isis csnp-interval 60 switch(config-if)#</pre>
---	---

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis hello-interval

インターフェイスごとに hello 間隔 Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) を秒単位で設定するには、**fabricpath isis hello-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis hello-interval** *seconds*

**no fabricpath isis hello-interval** *seconds*

## 構文の説明

*seconds* hello 間隔の値です。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。

## コマンド デフォルト

10 秒

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、hello 間隔を秒単位で設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/5
switch(config-if)# fabricpath isis hello-interval 20
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis hello-multiplier

インターフェイスごとに hello ホールディング タイムの Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 乗数を設定するには、**fabricpath isis hello-multiplier** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis hello-multiplier** *multiplier*

**no fabricpath isis hello-multiplier** *multiplier*

## 構文の説明

*multiplier* hello 間隔の値です。指定できる範囲は 3 ~ 1000 です。

## コマンド デフォルト

デフォルト値は 3 です。

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注)

レベル指定は必要ありません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、hello 間隔を秒単位で設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/5
switch(config-if)# fabricpath isis hello-multiplier 20
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis hello-padding

インターフェイスごとに FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) hello Protocol Data Unit (PDU; プロトコル データ ユニット) パディングを設定するには、**fabricpath isis hello-padding** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis hello-padding**

**no fabricpath isis hello-padding [always]**

## 構文の説明

**always** (任意) hello PDU のパディングは常にオンになります。

## コマンド デフォルト

オン

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注) このコマンドの **no** 形式に **always** を入力すると、パディングは常にオンになります。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS hello PDU パディングを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis hello-padding
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis lsp-interval

各インターフェイスの Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) リンクステート パケット (LSP) プロトコル データ ユニット (PDU) 間の送信間隔を設定するには、**fabricpath isis lsp-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis lsp-interval msec**

**no fabricpath isis lsp-interval msec**

## 構文の説明

*msec* LSP 送信間隔、ミリ秒単位。指定できる範囲は 10 ~ 65535 です。

## コマンド デフォルト

33 ミリ秒

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、LSP 送信間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis lsp-interval 100
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis metric

各インターフェイスの Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) メトリックを設定するには、**fabricpath isis metric** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis metric** *metric*

**no fabricpath isis metric** *metric*

## 構文の説明

<i>metric</i>	デフォルト メトリック。指定できる範囲は 0 ~ 16777215 です。
---------------	---------------------------------------

## コマンド デフォルト

デフォルトは次のとおりです (F シリーズ モジュールのデフォルト インターフェイスは 10 GB です)。

- 1 GB : 400
- 10 GB : 40

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、各インターフェイスにメトリックを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis metric 100
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis retransmit-interval

ピアツーピア (P2P) インターフェイスの最初の Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) リンクステート パケット (LSP) 再送信の間隔を設定するには、**fabricpath isis retransmit-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis retransmit-interval** *seconds*

**no fabricpath isis retransmit-interval** *seconds*

## 構文の説明

*seconds* 同一 LSP の再送信の間隔、秒単位。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

## コマンド デフォルト

5 秒

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、P2P インターフェイスの最初の LSP 再送信の間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis retransmit-interval 65532
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath isis retransmit-throttle-interval

後続のリンクステート パケット (LSP) 再送信の間隔を設定するには、**fabricpath isis retransmit-throttle-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath isis retransmit-throttle-interval** *seconds*

**no fabricpath isis retransmit-throttle-interval** *seconds*

## 構文の説明

*seconds* 同一 LSP の再送信の間隔 (秒)。有効な範囲は 20 ~ 65535 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、LSP の再送信間の最小遅延値を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis retransmit-throttle-interval 65532
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# fabricpath load-balance

FabricPath ロードバランシング パラメータを設定するには、**fabricpath load-balance** コマンドを使用します。デフォルトの FabricPath ユニキャスト ロードバランシング スキームに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
fabricpath load-balance unicast [{destination | source | source-destination}] [{layer3 | layer4 | mixed} [include-vlan]]
```

```
no fabricpath load-balance unicast [{destination | source | source-destination}] [{layer3 | layer4 | mixed} [include-vlan]]
```

## 構文の説明

<b>unicast</b>	ロードバランシング パラメータがユニキャスト ロードバランシング スキームに設定されることを指定します。
<b>destination</b>	(任意) ロードバランシング パラメータに宛先パラメータを含めるように指定します。
<b>source</b>	(任意) ロードバランシング パラメータに送信元パラメータを含めるように指定します。
<b>source-destination</b>	(任意) ロードバランシング パラメータに送信元および宛先パラメータを含めるように指定します。
<b>layer3</b>	(任意) ロードバランシング パラメータにレイヤ 3 パラメータだけが含まれるように指定します。
<b>layer4</b>	(任意) ロードバランシング パラメータにレイヤ 4 パラメータだけが含まれるように指定します。
<b>mixed</b>	(任意) ロードバランシング パラメータにレイヤ 3 およびレイヤ 4 パラメータの組み合わせが含まれることを指定します。これはデフォルトの設定です。
<b>include-vlan</b>	(任意) ロードバランシング パラメータが VLAN を使用することを指定します。

## コマンドデフォルト

レイヤ 3 およびレイヤ 4 パラメータの組み合わせが含まれます。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath の送信元のロードバランシング パラメータを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fabricpath load-balance unicast source
```

```
switch(config)#
```

次に、FabricPath ロードバランシング パラメータを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# no fabricpath load-balance unicast source  
switch(config)#
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath load-balance</b>	FabricPath ロードバランシング情報を表示します。

# fabricpath switch-id (FabricPath)

FabricPath スイッチ ID を設定するには、**fabricpath switch-id** コマンドを使用します。スタティックに設定されたスイッチ ID を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath switch-id** *switch-id*

**no fabricpath switch-id**

## 構文の説明

*switch-id* FabricPath スイッチ ID。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

Virtual Port Channel Plus (vPC+) を実行中でなければ、FabricPath をイネーブルにしたときにシステムがスイッチ ID を割り当てるため、手動で割り当てる必要はありません。



(注)

vPC+ の詳細については、**fabricpath switch-id (vpc ドメイン コンフィギュレーション モード)** コマンドを参照してください。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath-enabled デバイスでスイッチ ID を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath switch-id 40
switch(config)#
```

次に、FabricPath-enabled デバイスでスイッチ ID を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# no fabricpath switch-id 40
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath switch-id</b>	スイッチ ID に関する情報を表示します。

# fabricpath switch-id (vPC)

Virtual Port Channel Plus (vPC+) スイッチ ID を設定するには、**fabricpath switch-id** コマンドを使用します。vPC ドメインから FabricPath スイッチを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath switch-id** *switch-id*

**no fabricpath switch-id** [*switch-id*]

## 構文の説明

*switch-id* FabricPath スイッチ ID。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

vPC+ を実行中でなければ、FabricPath をイネーブルにしたときにシステムがスイッチ ID を割り当てるため、手動で割り当てる必要はありません。



(注)

2 台の vPC+ ピア デバイスが隣接関係を形成できるようにするには、これらの各デバイスに同じ vPC+ スイッチ ID を割り当てる必要があります。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath-enabled デバイスで vPC+ スイッチ ID を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vpc domain 1
switch(config-vpc-domain)# fabricpath switch-id 1
Configuring fabricpath switch id will flap vPCs. Continue (yes/no)? [no]
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config fabricpath</b>	FabricPath の実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。
<b>show vpc</b>	vPC に関する情報を表示します。

# fabricpath timers

FabricPath タイマーを設定するには、**fabricpath timers** コマンドを使用します。FabricPath タイマーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath timers** {**allocate-delay** *sec* | **linkup-delay** *sec* | **transition-delay** *sec*}

**no fabricpath timers** {**allocate-delay** | **linkup-delay** | **transition-delay**}

## 構文の説明

<b>allocate-delay</b>	ネットワーク全体に伝播する新しいリソースのタイム デイレイを指定します。
<i>sec</i>	秒単位のタイマーの値。指定できる範囲は 1 ~ 1200 秒です。
<b>linkup-delay</b>	競合検出のためのリンク プリングアップのタイム デイレイを指定します。
<b>transition-delay</b>	ネットワーク全体に伝播する、遷移後の値のタイム デイレイを指定します。

## コマンド デフォルト

- allocate-delay : 10 秒
- linkup-delay : 10 秒
- transition-delay : 10 秒

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、ネットワーク全体に伝播する新しいスイッチ ID が使用可能かつ恒久的となるまでの遅延を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fabricpath timers allocate-delay 600
switch(config)#
```

次に、スイッチ ID での競合検出のためのリンク プリングアップ デイレイを設定する例を示します。システムが競合を検出すると、システムは競合の解決に一定時間をかけ、FabricPath を運用状態にします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fabricpath timers linkup-delay 600
switch(config)#
```

## ■ fabricpath timers

次に、遷移後の値をネットワーク全体に伝播させるための遅延を設定する例を示します。この間、古いスイッチ ID と新しいスイッチ ID がネットワークに存在します。この遷移は、リンクがアップになり、ネットワークが同一の 2 つのスイッチ ID を保持するかどうかをシステムがチェックするまでのみ持続します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# fabricpath timers transition-delay 600
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath timers</b>	FabricPath タイマーに関する情報を表示します。

# fabricpath topology

FabricPath トポロジを設定するには、**fabricpath topology** コマンドを使用します。FabricPath トポロジを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**fabricpath topology** *topology\_number*

**no fabricpath topology** [*topology\_number*]

## 構文の説明

*topology\_number* トポロジ ID。指定できる範囲は 1 ~ 63 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath トポロジを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/5
switch(config-if)# fabricpath topology 75
switch(config-if)#
```

次に、スイッチ上で設定されたすべての FabricPath トポロジを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/5
switch(config-if)# no fabricpath topology
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath route</b>	FabricPath のルーティング トポロジを表示します。
<b>show fabricpath topology</b>	FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジに関する情報を表示します。

# feature fabric-binding

ファブリック バインディングをイネーブルにするには、**feature fabric-binding** コマンドを使用します。ファブリック バインディングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**feature fabric-binding**

**no feature fabric-binding**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

ディセーブル

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注)

FabricPath 機能は、Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチでだけサポートされます。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、スイッチのファブリック バインディングをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature fabric-binding
switch(config)#
```

次に、スイッチのファブリック バインディングをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature fabric-binding
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature-set fabricpath</b>	FabricPath フィーチャセットをイネーブルまたはディセーブルにします。
<b>show feature</b>	スイッチでイネーブルまたはディセーブルにされている機能を表示します。

# feature-set fabricpath

FabricPath フィーチャセットをイネーブルにするには、**feature-set fabricpath** コマンドを使用します。FabricPath 機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**feature-set fabricpath**

**no feature-set fabricpath**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注) FabricPath 機能は、Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチでだけサポートされます。

デバイスで FabricPath をイネーブルにするまで、FabricPath コマンドを表示したり、コマンドにアクセスできません。



(注) スイッチで FabricPath をイネーブルにする前に FabricPath フィーチャセットをインストールする必要があります。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、スイッチで FabricPath 機能をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature-set fabricpath
switch(config)#
```

次に、スイッチで FabricPath 機能をディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature-set fabricpath
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature fabric-binding</b>	スイッチのファブリック バインディングをイネーブルまたはディセーブルにします。
<b>install feature-set fabricpath</b>	スイッチで FabricPath フィーチャ セットをインストールします。
<b>show feature-set</b>	機能のステータスを表示します。



## H コマンド

---

この章では、H で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# hostname dynamic (FabricPath)

Intermediate-System-to-Intermediate System (IS-IS) のダイナミック ホスト名の交換を設定するには、**hostname dynamic** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**hostname dynamic**

**no hostname dynamic**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

オン

## コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、IS-IS のダイナミック ホスト名の交換を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
switch(config)# fabricpath domain default  
switch(config-fabricpath-isis)# hostname dynamic  
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show hostname</b>	システムのホスト名を表示します。



## I コマンド

---

この章では、I で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# install feature-set fabricpath

スイッチで FabricPath フィーチャセットをインストールするには、**install feature-set fabricpath** コマンドを使用します。FabricPath フィーチャセットを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**install feature-set fabricpath**

**no install feature-set fabricpath**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

ディセーブル

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注)

FabricPath 機能は、Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチでだけサポートされます。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、スイッチで FabricPath 機能をインストールする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# install feature-set fabricpath
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature fabric-binding</b>	スイッチのファブリック バインディングをイネーブルまたはディセーブルにします。
<b>feature-set fabricpath</b>	スイッチで FabricPath フィーチャセットをイネーブルにします。
<b>show running-config</b>	実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。



## L コマンド

---

この章では、L で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# log-adjacency-changes (FabricPath)

隣接状態の変化のログ記録を設定するには、**log-adjacency-changes** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**log-adjacency-changes**

**no log-adjacency-changes**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

オン

## コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、隣接状態の変化のログ記録を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
switch(config)# fabricpath domain default  
switch(config-fabricpath-isis)# log-adjacency-changes  
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# lsp-gen-interval (FabricPath)

リンクステート パケット (LSP) 生成の間隔を設定するには、**lsp-gen-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
lsp-gen-interval {lsp-max-wait | lsp-initial-wait | lsp-second-wait}
```

```
no lsp-gen-interval {lsp-max-wait | lsp-initial-wait | lsp-second-wait}
```

## 構文の説明

<i>lsp-max-wait</i>	生成される LSP の連続した 2 つのオカレンス間の最大間隔 (秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルト値は 8000 です。
<i>lsp-initial-wait</i>	最初の LSP 生成遅延 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルトは 50 です。
<i>lsp-second-wait</i>	最初と 2 番目の LSP 生成の間のホールドタイム (ミリ秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルトは 50 です。

## コマンド デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- lsp-max-wait : 8000
- lsp-initial-wait : 50
- lsp-second-wait : 50

## コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

LSP パケットの生成、送信、再送信の速度を制御するには、**lsp-gen-interval** コマンドを入力できます。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、LSP 生成間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
switch(config)# fabricpath domain default  
switch(config-fabricpath-isis)# lsp-gen-interval 9000 60 70  
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

# lsp-mtu (FabricPath)

Cisco NX-OS ソフトウェアによって生成されるリンクステート パケット (LSP) 最大伝送ユニット (MTU) を設定するには、**lsp-mtu** コマンドを使用します デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**lsp-mtu bytes**

**no lsp-mtu bytes**

## 構文の説明

*bytes* 最大 LSP サイズ (バイト単位)。指定できる範囲は 128 ~ 4352 です。

## コマンド デフォルト

1492 バイト

## コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、最大 LSP サイズを 1500 バイトに設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# lsp-mtu 1500
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。



## M コマンド

---

この章では、M で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# maximum-paths (FabricPath)

宛先ごとのパスの最大数を設定するには、**maximum-paths** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**maximum-paths** *paths*

**no maximum-paths** *paths*

## 構文の説明

*paths* 宛先あたりの最大パス数。指定できる範囲は 1 ～ 16 です。

## デフォルト

デフォルト値は 16 です。

## コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、宛先ごとのパスの最大数を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# maximum-paths 1
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

# max-lsp-lifetime (FabricPath)

最大リンクステート パケット (LSP) のライフタイムを設定するには、**max-lsp-lifetime** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**max-lsp-lifetime** *value*

**no max-lsp-lifetime** *value*

構文の説明	<i>value</i>	最大 LSP ライフタイム (秒単位)。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。
-------	--------------	--

コマンド デフォルト	1200 秒
------------	--------

コマンド モード	FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード
----------	----------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	LSP の最大ライフタイムは、LSP のリフレッシュ間隔よりも大きな値にする必要があります。このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---

例	次に、リンクステート パケットが持続する最大時間を 11,000 秒に設定する例を示します。
---	--

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# max-lsp-lifetime 1300
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

# mode (FabricPath)

FabricPath フォワーディングの FabricPath VLAN として VLAN を設定するには、**mode** コマンドを使用します。FabricPath VLAN を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**mode {ce | fabricpath}**

**no mode {ce | fabricpath}**

## 構文の説明

<b>ce</b>	クラシカル IEEE 802.1Q イーサネット (CE) VLAN として VLAN をイネーブルにします。これはデフォルトの VLAN モードです。
<b>fabricpath</b>	FabricPath VLAN として VLAN をイネーブルにします。

## コマンドデフォルト

デフォルトの VLAN モードは **ce** です。

## コマンドモード

VLAN コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにしていることを確認します。



(注)

FabricPath を使用して VLAN モードを設定するには、あらかじめ VLAN を作成しておく必要があります。

ネットワーク上で FabricPath トラフィックを伝送する VLAN を指定するには、その VLAN を FabricPath VLAN として設定します。デフォルトでは、すべての FabricPath VLAN と FabricPath インターフェイスはデフォルトの FabricPath トポロジに追加されます。

スイッチ仮想インターフェイス (SVI) が VLAN でイネーブルになっていない場合のみ、すべての FabricPath VLAN が会話型学習を使用します。イネーブルになっている場合、FabricPath VLAN は従来型学習を使用します。

FabricPath VLAN のみが会話型学習をサポートします。CE VLAN は従来型学習だけをサポートします。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath VLAN として VLAN を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vlan 5
switch(config-vlan)# mode fabricpath
switch(config-vlan)#
```

次に、FabricPath VLAN を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# vlan 5  
switch(config-vlan)# no mode fabricpath  
switch(config-vlan)#
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature-set fabricpath</b>	スイッチで FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにします。
<b>show fabricpath topology vlans</b>	レイヤ 2 トポロジの VLAN を含む、FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジに関する情報を表示します。

■ mode (FabricPath)



## R コマンド

---

この章では、R で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# reference-bandwidth (FabricPath)

インターフェイスの設定に使用される参照帯域幅を変更するには、**reference bandwidth** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**reference-bandwidth** *bandwidth* {Mbps | Gbps}

**no reference-bandwidth** *bandwidth* {Mbps | Gbps}

## 構文の説明

<i>bandwidth</i>	帯域幅を指定します (Mbps 単位または Gbps 単位)。指定できる幅は 1 ~ 400000 Mbps および 1 ~ 400 Gbps です。
<b>Mbps</b>	帯域幅を Mbps で指定します。
<b>Gbps</b>	帯域幅を Gbps で指定します。

## コマンドデフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- Gbps : 400
- Mbps : 400000

## コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、Gbps インターフェイス用の参照帯域幅を変更する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# reference-bandwidth 500 Gbps
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

# root-priority (FabricPath)

ルートになるノードのプライオリティを設定するには、**root-priority** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**root-priority value**

**no root-priority value**

構文の説明	<i>value</i>	トポロジごとのルートプライオリティ値。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。デフォルトは 64 です。
-------	--------------	--

コマンド デフォルト      デフォルト値は 64 です。

コマンド モード      FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン      優先順位値の最も高いノードが、ルートになる可能性が高くなります。  
このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# root-priority 1
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show fabricpath isis</b>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

■ root-priority (FabricPath)



## S コマンド

---

この章では、S で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# spf-interval

Shortest-Path-First (SPF) 生成の間隔を設定するには、**spf-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**spf-interval** {*spf-max-wait* | *spf-initial-wait* | *spf-second-wait*}

**no spf-interval** {*spf-max-wait* | *spf-initial-wait* | *spf-second-wait*}

## 構文の説明

<i>spf-max-wait</i>	2つの連続するリンクステート パケット (LSP) 生成間の最大間隔 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。
<i>spf-initial-wait</i>	最初の LSP 生成遅延 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。
<i>spf-second-wait</i>	最初と 2 番目の LSP 生成の間のホールドタイム (ミリ秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。

## コマンド デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- spf-max-wait : 8000
- spf-initial-wait : 50
- spf-second-wait : 50

## コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、SPF 生成の間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# spf-interval 9000 60 70
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# switchport mode fabricpath

インターフェイスを FabricPath ポートとして設定するには、**switchport mode fabricpath** コマンドを使用します。インターフェイスをデフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**switchport mode fabricpath**

**no switchport mode**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード  
仮想イーサネット インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注)

**no** キーワードは、インターフェイスをデフォルトのクラシカル IEEE 802.1Q イーサネット (CE) スイッチポート アクセス インターフェイスに戻します。FabricPath ポートは FabricPath VLAN として設定された VLAN のトラフィックだけを伝送します。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、特定のインターフェイスを FabricPath ポートとして設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/11-15
switch(config-if)# switchport mode fabricpath
switch(config-if)# no shutdown
switch(config-if)#
```

次に、FabricPath ポートとして仮想イーサネット インターフェイスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vethernet 1
switch(config-if)# switchport mode fabricpath
switch(config-if)# no shutdown
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show interface brief</b>	インターフェイスのステータスと情報の簡単なサマリーを表示します。

# system default switchport fabricpath

デフォルトポートモードを FabricPath として設定するには、**system default switchport fabricpath** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**system default switchport fabricpath**

**no system default switchport fabricpath**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、デフォルトポートを FabricPath として設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# system default switchport fabricpath
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config</b>	実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。

■ system default switchport fabricpath



## show コマンド

---

この章では、Cisco NX-OS FabricPath の **show** コマンドについて説明します。

# show fabricpath conflict

FabricPath ネットワーク内の競合に関する情報を表示するには、**show fabricpath conflict** コマンドを使用します。

**show fabricpath conflict {all [detail] | link [detail] | switch-id [detail] | transitions [detail]}**

## 構文の説明

<b>all</b>	すべての競合を表示します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細を表示します。
<b>link</b>	すべてのリンクを表示します。
<b>switch-id</b>	スイッチ ID を表示します。
<b>transitions</b>	遷移を表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath ネットワーク内の競合に関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath conflict all detail
No Ports under Fabricpath control
No Switch id Conflicts
No transitions in progress
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config fabricpath</b>	現在の FabricPath 設定を表示します。

# show fabricpath ftag

FabricPath FTAG に関する情報を表示するには、**show fabricpath ftag** コマンドを使用します。

## show fabricpath ftag

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

任意のコマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、FabricPath FTAG に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath ftag
No ftag values present
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config fabricpath</b>	現在の FabricPath 設定を表示します。

# show fabricpath isis

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 隣接データベースを表示するには、**show fabricpath isis** コマンドを使用します。

## show fabricpath isis

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、IS-IS 隣接の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis

Fabricpath IS-IS domain : default
 System ID : 0005.73a3.ba3c IS-Type : L1
 SAP : 432 Queue Handle : 11
 Maximum LSP MTU: 1492
 Graceful Restart enabled. State: Inactive
 Last graceful restart status : none
 Metric-style : advertise(wide), accept(wide)
 Start-Mode: Complete [Start-type configuration]
 Area address(es) :
    00
 Process is up and running
 CIB ID: 4
 Interfaces supported by Fabricpath IS-IS :
 Level 1
 Authentication type and keychain not configured
 Authentication check specified
 MT-0 Ref-Bw: 400000
 Address family Swid unicast :
   Number of interface : 0
   Distance : 115
 L1 Next SPF: Inactive
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
<b>show running-config fabricpath</b>	FabricPath の実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。

# show fabricpath isis adjacency

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 隣接データベースを表示するには、`show fabricpath isis adjacency` コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis adjacency [interface {ethernet module/slot | port-channel
channel-number} | detail | summary | system-id sid]
```

## 構文の説明

<b>interface</b>	(任意) インターフェイスのステータスを表示します。
<b>ethernet</b>	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>module/slot</i>	モジュールとスロット番号。モジュール番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel</b>	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<i>channel-number</i>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
<b>detail</b>	(任意) IS-IS 隣接の詳細情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) IS-IS 隣接の概要情報を表示します。
<b>system-id</b>	(任意) システム ID を表示します。
<i>sid</i>	ホスト名または XXXX.XXXX.XXXX 形式のシステム ID。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、IS-IS 隣接の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis adjacency detail
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis database

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) リンクステート パケット (LSP) データベースの情報を表示するには、**show fabricpath isis database** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis database [l1] [level-1] [mgroup] [detail | summary] [sid]
                               {[zero-sequence] | [router-id] | [adjacency]}
```

## 構文の説明

<b>l1</b>	(任意) IS-IS レベル 1 ルーティング リンク ステート データベースを表示します。
<b>level-1</b>	(任意) IS-IS レベル 1 ルーティング リンク ステート データベースを表示します。
<b>mgroup</b>	(任意) IS-IS GM データベース情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) IS-IS 詳細情報を表示します。
<b>summary</b>	(任意) IS-IS 概要情報を表示します。
<b>sid</b>	(任意) XXXX.XXXX.XXXX.XX-XX の形式の LSP ID。
<b>zero-sequence</b>	(任意) 番号がゼロ シーケンスの LSP を表示します。
<b>router-id</b>	(任意) ルータ ID フィルタを表示します。
<b>adjacency</b>	(任意) 隣接フィルタを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS LSP データベースの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis database
Fabricpath IS-IS domain: default LSP database
  LSPID                Seq Number  Checksum  Lifetime  A/P/O/T
  O2-48_Mgmt-2.00-00 * 0x00000008  0x2F9D   1073     0/0/0/1
switch#
```

次に、IS-IS レベル 1 ルーティング リンク ステート データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis database level-1
Fabricpath IS-IS domain: default LSP database
  LSPID                Seq Number  Checksum  Lifetime  A/P/O/T
  O2-48_Mgmt-2.00-00 * 0x00000008  0x2F9D   1041     0/0/0/1
```

## ■ show fabricpath isis database

```
switch#
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis ftag

トポロジのツリーに関連付けられた Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) FTAG 値を表示するには、**show fabricpath isis ftag** コマンドを使用します。

**show fabricpath isis ftag [multidestination tree-id]**

## 構文の説明

<b>multidestination</b>	(任意) マルチデスティネーション情報を表示します。
<b>tree-id</b>	ツリー ID。指定できる範囲は 1 ~ 2 です。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、IS-IS FTAG マルチデスティネーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ftag multidestination 1
Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Ftag Database
  Legend: C - Confirmed, T - tentative

MT-0
      PrimaryTree
  Multidestination-2    0 [C]
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
<b>default</b>	

# show fabricpath isis hostname

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ホスト名テーブル情報を表示するには、**show fabricpath isis hostname** コマンドを使用します。

## show fabricpath isis hostname [detail]

構文の説明	<b>detail</b> (任意) IS-IS 詳細情報を表示します。
-------	--------------------------------------

コマンドデフォルト	なし
-----------	----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション モード
---------	-----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---------------------------------------

例	次に、FabricPath IS-IS ホスト名テーブルの情報を表示する例を示します。
---	---

```
Switch# show fabricpath isis hostname detail
Fabricpath IS-IS domain: default dynamic hostname table
  Level  LSP ID                Dynamic hostname
  1      0005.73a3.ba3c.00-00*  O2-48_Mgmt-2

switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis interface

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) インターフェイスの情報を表示するには、**show fabricpath isis interface** コマンドを使用します。

**show fabricpath isis interface {brief | ethernet slot/port | port-channel channel-number}**

## 構文の説明

<b>brief</b>	IS-IS インターフェイスに関する簡単な情報を表示します。
<b>ethernet</b>	イーサネット インターフェイスを表示します。
<b>slot/port</b>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel</b>	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<b>channel-number</b>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS インターフェイスに関する簡単な情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis interface brief
```

次に、イーサネット インターフェイスの FabricPath IS-IS インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis interface ethernet 1/2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis ip mroute

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) マルチキャスト ルートに関する情報を表示するには、**show fabricpath isis ip mroute** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis ip mroute [vlan vlan-id [group group-id [source source-id]]]
```

## 構文の説明

<b>vlan</b>	(任意) IS-IS VLAN の情報を表示します。
<i>vlan-id</i>	VLAN ID です。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>group</b>	(任意) グループ情報を表示します。
<i>group-id</i>	A.B.C.D 形式のグループ ID 情報。
<b>source</b>	(任意) ソース情報を表示します。
<i>source-id</i>	A.B.C.D 形式のソース ID。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、IS-IS mroute の情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ip mroute
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis ip redistribute mroute

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 再配布マルチキャストルート情報を表示するには、**show fabricpath isis ip redistribute mroute** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis ip redistribute mroute [vlan vlan-id [group group-id [source source-id]]]
```

## 構文の説明

<b>vlan</b>	(任意) IS-IS VLAN の情報を表示します。
<b>vlan-id</b>	VLAN ID を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>group</b>	(任意) グループ情報を表示します。
<b>group-id</b>	A.B.C.D 形式のグループ ID 情報。
<b>source</b>	(任意) ソース情報を表示します。
<b>source-id</b>	A.B.C.D 形式のソース ID。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS 再配布 mroute 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ip redistribute mroute
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis protocol

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロトコルの情報を表示するには、**show fabricpath isis protocol** コマンドを使用します。

## show fabricpath isis protocol

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、FabricPath IS-IS プロトコルの情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis protocol
```

```
Fabricpath IS-IS domain : default
 System ID : 0005.73a3.ba3c IS-Type : L1
 SAP : 432 Queue Handle : 11
 Maximum LSP MTU: 1492
 Graceful Restart enabled. State: Inactive
 Last graceful restart status : none
 Metric-style : advertise(wide), accept(wide)
 Start-Mode: Complete [Start-type configuration]
 Area address(es) :
    00
 Process is up and running
 CIB ID: 4
 Interfaces supported by Fabricpath IS-IS :
 Level 1
 Authentication type and keychain not configured
 Authentication check specified
 MT-0 Ref-Bw: 400000
 Address family Swid unicast :
   Number of interface : 0
   Distance : 115
 L1 Next SPF: Inactive
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis route

ユニキャストルートの FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ルーティングテーブルを表示するには、**show fabricpath isis route** コマンドを使用します。

**show fabricpath isis route [summary | detail]**

## 構文の説明

<b>summary</b>	(任意) IS-IS 隣接情報のサマリーを表示します。
<b>detail</b>	(任意) IS-IS 隣接の詳細情報を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、IS-IS ルートの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis route detail
Fabricpath IS-IS domain: default MT-0
Topology 0, Tree 0, Swid routing table

switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis rrm

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Retransmit-Routing-Message (RRM) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis rrm** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis rrm [gm] {ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

## 構文の説明

<b>gm</b>	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
<b>ethernet</b>	イーサネット インターフェイスの IS-IS RRM 情報を表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 2555、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel</b>	ポートチャネル インターフェイスの IS-IS RRM 情報を表示します。
<i>channel-number</i>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS RRM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis rrm gm ethernet 2/2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis spf-log

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Shortest-Path-First (SPF) 計算統計情報に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis spf-log** コマンドを使用します。

## show fabricpath isis spf-log [detail]

構文の説明	<b>detail</b> (任意) IS-IS SPF の詳細情報を表示します。
-------	---

コマンドデフォルト	なし
-----------	----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション モード
---------	-----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---------------------------------------

例	次に、FabricPath IS-IS SPF の詳細情報を表示する例を示します。
---	---

```
switch1# show fabricpath isis spf-log detail
Fabricpath IS-IS domain: default SPF information
Total number of SPF calculations: 1

Log entry (current/max): 1/20
Log entry: 01, Ago: 02:32:37, Date: Tue Oct 25 03:41:00 2011
  Level Instance   Init      SPF      IS Update  URIB Update  Total
  1      0x00000001  0.000062  0.000009  0.000009   0.000009    0.000411
  Level Node Count  Changed Reason
  1      1      2      0      Switch-id updated

switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>fabricpath domain</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
	<b>default</b>	

# show fabricpath isis srm

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Send-Routing-Message (SRM) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis srm** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis srm [gm] {ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

構文の説明		
	<b>gm</b>	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
	<b>ethernet</b>	イーサネット インターフェイスを表示します。
	<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
	<b>port-channel</b>	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
	<i>channel-number</i>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例 次に、FabricPath IS-IS SRM の情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis srm gm ethernet 2/2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis ssn

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Send-Sequence-Number (SSN) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis ssn** コマンドを使用します。

**show fabricpath isis ssn [gm] {ethernet slot/port | port-channel channel-number}**

## 構文の説明

<b>gm</b>	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
<b>ethernet</b>	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel</b>	ポートチャネル インターフェイスを指定します。
<i>channel-number</i>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS Send-Sequence-Number 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ssn gm port-channel 400
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis statistics

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロトコル統計情報に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis statistics** コマンドを使用します。

## show fabricpath isis statistics

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、FabricPath IS-IS プロトコル統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis statistics
Fabricpath IS-IS domain:      default
SPF calculations:            1
LSPs sourced:                 2
LSPs refreshed:              18
LSPs purged:                  0
Buffers U2RIB:                0
Buffers M2RIB:                0
Buffers PIXM:                 0
Swid Updates:                 2
Ftag Updates:                 0

switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
<b>default</b>	

# show fabricpath isis switch-id

トポロジ内のスイッチ ID および到達可能性情報を表示するには、**show fabricpath isis switch-id** コマンドを使用します。

## show fabricpath isis switch-id

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、スイッチ ID データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis switch-id

Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Switch-ID Database
Legend: C - Confirmed, T - tentative, W - swap
        S - sticky, E - Emulated Switch
        '*' - this system
System-ID      Primary  Secondary  Reachable  Bcast-Priority
MT-0
0005.73a3.ba3c* 2590 [C]      0 [C]  Yes          64
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
<b>default</b>	

# show fabricpath isis topology summary

Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) サマリー トポロジの情報を表示するには、**show fabricpath isis topology summary** コマンドを使用します。

## show fabricpath isis topology summary

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、FabricPath IS-IS サマリー トポロジの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis topology summary
Fabricpath IS-IS domain: default FabricPath IS-IS Topology Summary
MT-0
  Configured interfaces:
    Number of trees: 2
      Tree id: 1, ftag: 0, root system: 0000.0000.0000, 0
      Tree id: 2, ftag: 0, root system: 0000.0000.0000, 0
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain</b> default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis traffic

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トラフィックの情報を表示するには、`show fabricpath isis traffic` コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis traffic {ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

## 構文の説明

<b>ethernet</b>	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーン番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<b>port-channel</b>	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<i>channel-number</i>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS トラフィックの情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis traffic
Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Traffic:
PDU           Received          Sent  RcvAuthErr  OtherRcvErr  ReTransmit
P2P-IIH       0                  0      0            0            0          n/a
CSNP          0                  0      0            0            0          n/a
PSNP          0                  0      0            0            0          n/a
LSP           0                  0      0            0            0           0

switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
<b>default</b>	

# show fabricpath isis trees

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ツリーの情報を表示するには、**show fabricpath isis trees** コマンドを使用します。

**show fabricpath isis trees** [**multidestination** *tree-id*]

構文の説明	<b>multidestination</b>	(任意) マルチデスティネーション情報を表示します。
	<i>tree-id</i>	ツリー ID。指定できる範囲は 1 ~ 2 です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

```
次に、FabricPath IS-IS ツリー マルチデスティネーションを表示する例を示します。

switch# show fabricpath isis trees multidestination 1
Fabricpath IS-IS domain: default
Note: The metric mentioned for multidestination tree is from the root of that tree to that switch-id

MT-0
Topology 0, Tree 1, Swid routing table

switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>fabricpath domain</b> <b>default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath isis vlan-range

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジ内の VLAN を表示するには、**show fabricpath isis vlan-range** コマンドを使用します。

## show fabricpath isis vlan-range

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

任意のコマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、FabricPath IS-IS トポロジ内の VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis vlan-range
Fabricpath IS-IS domain: default
MT-0
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain</b> <b>default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show fabricpath load-balance

FabricPath ロードバランシング情報を表示するには、**show fabricpath load-balance** コマンドを使用します。

## show fabricpath load-balance

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

任意のコマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン



(注)

管理者権限のないユーザは **show fabricpath load-balance** を実行できません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、FabricPath ロードバランシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance
ECMP load-balancing configuration:
L3/L4 Preference: Mixed
Hash Control: Symmetric
Rotate amount: 7 bytes
Use VLAN: TRUE
```

```
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath load-balance</b>	FabricPath ロードバランシング パラメータを表示します。

# show fabricpath load-balance multicast

マルチキャスト ロードバランシング スキームの FabricPath ロードバランシング情報を表示するには、**show fabricpath load-balance multicast** コマンドを使用します。

**show fabricpath load-balance multicast ftag-selected vlan *vlan-ID* macg *MAC-addr***

## 構文の説明

<b>ftag-selected</b>	FabricPath FTAG のマルチキャスト ロードバランシング パラメータを表示します。
<b>vlan <i>vlan-ID</i></b>	FabricPath VLAN のロードバランシングを表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>macg <i>MAC-addr</i></b>	マルチキャスト グループの MAC アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。形式は EEEE.EEEE.EEEE です。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、マルチキャスト ロードバランシング スキームの FabricPath ロードバランシング転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance multicast ftag-selected vlan 10 macg 0100.5E10.1010
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath load-balance</b>	FabricPath ロードバランシング パラメータを表示します。

# show fabricpath load-balance unicast

ユニキャスト ロードバランシング スキームの FabricPath ロードバランシング情報を表示するには、**show fabricpath load-balance unicast** コマンドを使用します。

```
show fabricpath load-balance unicast forwarding-path ftag ftag-ID switchid switch-ID
src-mac MAC-addr dst-mac MAC-addr [dst-ip ip-addr] [dst-ipv6 ipv6-addr]
[l4-dst-port l4-dest-port] [l4-src-port l4-src-port] [src-ip ip-addr] [src-ipv6 ipv6-addr]
[vlan vlan-ID]
```

## 構文の説明

<b>forwarding-path</b>	パケットを転送する FabricPath を識別します。
<b>ftag ftag-ID</b>	FabricPath FTAG のロードバランシング パラメータを表示します。FTAG 値は 0 ~ 4,294,967,295 です。
<b>switchid switch-ID</b>	特定の FabricPath スイッチ ID のロードバランシング パラメータを表示します。スイッチ ID は 0 ~ 4,294,967,295 です。
<b>src-mac</b>	送信元 MAC アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。
<i>MAC-addr</i>	MAC アドレス。形式は EE:EE:EE:EE:EE:EE です。
<b>dst-mac</b>	宛先 MAC アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。
<b>dst-ip</b>	(任意) 宛先 IPv4 アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。
<i>ip-addr</i>	IPv4 アドレス。形式は、A.B.C.D です。
<b>dst-ipv6</b>	(任意) ロードバランシング宛先ハッシュ パラメータを表示します。
<i>ipv6-addr</i>	IPv6 アドレス。形式は EE:EE::EE:EE です。
<b>l4-dst-port l4-dest-port</b>	(任意) ハッシュに使用される宛先 TCP または UDP ポート情報を表示します。指定できるポート番号は 0 ~ 65535 です。
<b>l4-src-port l4-src-port</b>	(任意) ハッシュに使用される送信元 TCP または UDP ポート情報を表示します。指定できるポート番号は 0 ~ 65535 です。
<b>src-ip</b>	(任意) 送信元 IPv4 アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。
<b>src-ipv6</b>	(任意) ロードバランシングの送信元のハッシュ パラメータを表示します。
<b>vlan vlan-ID</b>	(任意) FabricPath VLAN のロードバランシング情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## show fabricpath load-balance unicast

## 例

次に、ユニキャストロードバランシングスキームの FabricPath ロードバランシング転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance unicast forwarding-path ftag 1 switchid 200 src-mac
00:10:20:30:40:50 dst-mac 00:30:40:50:60:70 vlan 200
```

次に、ユニキャストロードバランシングスキームの FabricPath ロードバランシングハッシュ情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance unicast forwarding-path ftag 1 switchid 232 src-mac
0000.1234.5678 dst-mac 0000.3452.4567 src-ipv6 12:34::56:78 dst-ipv6 01:34::56:78
14-dst-port 100 14-src-port 435 vlan 200
```

Missing params will be substituted by 0's.

```
crc8_hash: 229
This flow selects interface Po400
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath</b>	FabricPath ロードバランシングパラメータを表示します。
<b>load-balance</b>	

# show fabricpath route

FabricPath ルート情報を表示するには、**show fabricpath route** コマンドを使用します。

```
show fabricpath route [detail [hex] | hex | topology {topology_ID [switchid switch-ID] |
all} [detail | hex]]
```

構文の説明	パラメータ	説明
	<b>detail</b>	(任意) 詳細情報を表示します。
	<b>hex</b>	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。
	<b>topology</b> <i>topology_ID</i>	(任意) トポロジ情報を表示します。トポロジ値は 0 ~ 63 です。
	<b>switchid</b>	(任意) スイッチ ID を表示します。
	<i>switch-ID</i>	スイッチ ID 値。指定できる範囲は 0 ~ 16383 です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例 次に、FabricPath のルートに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath route detail
FabricPath Unicast Route Table
'a/b/c' denotes ftag/switch-id/subswitch-id
'[x/y]' denotes [admin distance/metric]
ftag 0 is local ftag
subswitch-id 0 is default subswitch-id

FabricPath Unicast Route Table for Topology-Default
0/2590/0, number of next-hops: 0
    via ---- , [60/0], 0 day/s 02:57:18, local
switch#
```

次に、FabricPath ルートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath route
FabricPath Unicast Route Table
'a/b/c' denotes ftag/switch-id/subswitch-id
'[x/y]' denotes [admin distance/metric]
ftag 0 is local ftag
subswitch-id 0 is default subswitch-id
```

## ■ show fabricpath route

```
FabricPath Unicast Route Table for Topology-Default
0/2590/0, number of next-hops: 0
    via ---- , [60/0], 0 day/s 02:58:05, local
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config fabricpath</b>	現在の FabricPath 設定を表示します。

# show fabricpath switch-id

FabricPath スイッチ ID を表示するには、**show fabricpath switch-id** コマンドを使用します。

## show fabricpath switch-id [local]

### 構文の説明

**local** (任意) ローカル スイッチの ID 情報を表示します。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

任意のコマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、FabricPath スイッチ ID を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath switch-id
                        FABRICPATH SWITCH-ID TABLE
Legend: '*' - this system
=====
SWITCH-ID      SYSTEM-ID      FLAGS      STATE      STATIC  EMULATED
-----+-----+-----+-----+-----+-----
*2590          0005.73a3.ba3c Primary    Confirmed   No       No
Total Switch-ids: 1
O2-48_Mgmt-2(config)#
O2-48_Mgmt-2(config)# show fabricpath s?
  switch-id  Switch ID
  system-id  System-id

switch#
```

次に、ローカル FabricPath スイッチ ID を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath switch-id local
Switch-Id: 2590
System-Id: 0005.73a3.ba3c
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath switch-id (FabricPath)</b>	FabricPath スイッチ ID を表示します。

# show fabricpath system-id

システム ID ごとに FabricPath ネットワークの情報を表示するには、**show fabricpath system-id** コマンドを使用します。

```
show fabricpath system-id {mac-address}
```

## 構文の説明

<i>mac-address</i>	MAC アドレス。
--------------------	-----------

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、システム ID ごとに FabricPath ネットワークの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath system-id 0005.73a3.ba3c
Switch-Id: 2590
State: Confirmed
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config</b> <b>fabricpath</b>	現在の FabricPath 設定の情報を表示します。

# show fabricpath timers

システム ID ごとに FabricPath ネットワークの allocate-delay タイマー、linkup-delay タイマー、および transition-delay タイマーの設定を表示するには、**show fabricpath timers** コマンドを使用します。

## show fabricpath timers

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

任意のコマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

### 例

次に、FabricPath タイマーの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath timers
Allocate Delay Timer      : 10
Transition Delay Timer    : 10
Link-up Delay Timer       : 10
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath timers</b>	FabricPath タイマーを設定します。

# show fabricpath topology

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジの情報を表示するには、**show fabricpath topology** コマンドを使用します。

```
show fabricpath topology [topology-ID {ftag [active | multicast | unicast] | interface
[ethernet slot/port | port-channel channel-number] | vlan [active]} | detail | ftag
[active | multicast | unicast] | interface [ethernet slot/port | port-channel
channel-number | vlan [active]] | vlan [active]]
```

## 構文の説明

<i>topology-ID</i>	FabricPath トポロジ ID。指定できる範囲は 0 ～ 63 です。
<b>detail</b>	(任意) FabricPath トポロジ詳細情報を表示します。
<b>ftag</b>	(任意) グラフの転送タグ (FTAG) を表示します。
<b>active</b>	(任意) アクティブ マルチキャスト FTAG を表示します。
<b>multicast</b>	(任意) マルチキャスト FTAG を表示します。
<b>unicast</b>	(任意) ユニキャスト FTAG を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイス トポロジ情報を表示します。
<b>ethernet</b>	(任意) イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ～ 255、ポート番号は 1 ～ 128 です。
<b>port-channel</b>	(任意) ポートチャンネル インターフェイス番号を表示します。
<i>channel-number</i>	ポート チャンネル番号。指定できる範囲は 1 ～ 4096 です。
<b>vlan</b>	(任意) レイヤ 2 トポロジの VLAN を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、レイヤ 2 トポロジの VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 0 vlan
Topo-Description      TPG-ID      Configured VLAN List
-----
0                      0           1-4095
switch#
```

次に、インターフェイス トポロジ情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 0 interface
```

次に、アクティブ マルチキャスト FTAG を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 0 ftag
```

次に、FabricPath トポロジのインターフェイス VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology interface ethernet 2/1 vlan
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

# show feature-set

スイッチのすべてのフィーチャセットのステータスを表示するには、**show feature-set** コマンドを使用します。

```
show feature-set [services feature-set-name]
```

## 構文の説明

<b>services</b>	フィーチャセットに関連付けられたサービスを表示します。
<b>feature-set-name</b>	サービスまたはフィーチャセットの名前。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、フィーチャセットの状態を表示する例を示します。

```
switch# show feature-set
Feature Set Name      ID      State
-----
fabricpath            2      enabled
virtualization       4      uninstalled
switch#
```

次に、FabricPath フィーチャセットに関連付けられたサービスを表示する例を示します。

```
switch# show feature-set services fabricpath
u2rib
drap
isis_fabricpath
3 services in feature set fabricpath
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature-set fabricpath</b>	スイッチで FabricPath フィーチャセットをイネーブルにします。

# show mroute

レイヤ 2 (I2) または FabricPath のマルチキャスト ルート データベースを表示するには、**show mroute** コマンドを使用します。

```
show {I2 | fabricpath} mroute {[vdc_omf] | [vlan vlanid] {[omf] | [flood] | [source
  {srcaddr | ipv6srcaddr}]} [group {groupaddr | ipv6groupaddr}]} [resolved] [ftag
  ftag-id] [hex]}
```

## 構文の説明

<b>I2</b>	レイヤ 2 情報を表示します。
<b>fabricpath</b>	FabricPath 情報を表示します。
<b>vdc_omf</b>	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) の Optimized Multicast Flooding (OMF) のルートを表示します。
<b>vlan</b>	(任意) VLAN ID を表示します。
<i>vlan-id</i>	(任意) VLAN ID。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
<b>omf</b>	(任意) VLAN OMF ルートを表示します。
<b>flood</b>	(任意) VLAN のフラッディング ルートを表示します。
<b>source</b>	(任意) 送信元 IP アドレスを表示します。
<i>srcaddr</i>	IPv4 送信元アドレスです。
<i>ipv6srcaddr</i>	IPv6 送信元アドレスです。
<b>group</b>	(任意) グループアドレスを表示します。
<i>groupaddr</i>	IPv4 グループアドレス。
<i>ipv6groupaddr</i>	IPv6 グループアドレス。
<b>resolved</b>	(任意) インターフェイスの基となるネクスト ホップの解決済みスイッチ ID を表示します。
<b>ftag</b>	(任意) FTAG 番号を表示します。
<i>ftag-id</i>	転送タグ (FTAG) ID。指定できる範囲は 1 ~ 1024 です。
<b>hex</b>	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注) I2 と FabricPath は互いに置き換えて使用できます。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

**例**

次に、FabricPath マルチキャスト ルート データベース内の VLAN のフラッドイング ルートを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath mroute flood
```

次に、インターフェイスの基となるネクスト ホップの解決済みスイッチ ID を表示する例を示します。

```
switch# show 12 mroute resolved
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>fabricpath load-balance</b>	FabricPath ロードバランシング パラメータを表示します。
<b>show running-config fabricpath</b>	現在の FabricPath 設定を表示します。

# show multicast trees

レイヤ 2 (I2) または FabricPath マルチキャスト ツリー データベースを表示するには、**show multicast trees** コマンドを使用します。

```
show {I2 | fabricpath} multicast trees [topo topo-id] [ftag ftag-id] [hex]
```

## 構文の説明

<b>I2</b>	レイヤ 2 情報を表示します。
<b>fabricpath</b>	FabricPath 情報を表示します。
<b>topo</b>	(任意) トポロジ インスタンスを表示します。
<b>topo-id</b>	トポロジ ID。指定できる範囲は 0 ~ 64 です。
<b>ftag</b>	(任意) FTAG 番号を表示します。
<b>ftag-id</b>	転送タグ (FTAG) ID。指定できる範囲は 1 ~ 1024 です。
<b>hex</b>	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath マルチキャスト ツリー データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath multicast trees
```

次に、レイヤ 2 マルチキャスト ツリーの FTAG 番号を表示する例を示します。

```
switch# show I2 multicast trees ftag 1
```

次に、レイヤ 2 マルチキャスト ツリー データベースを表示する例を示します。

```
switch# show I2 multicast trees
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show I2 route</b>	FabricPath ルート情報を表示します。
<b>show fabricpath route</b>	FabricPath ルート情報を表示します。

# show running-config fabricpath

FabricPath の実行システム コンフィギュレーション情報を表示するには、**show running-config fabricpath** コマンドを使用します。

**show running-config fabricpath [domain default | switch-id | topology] [all]**

## 構文の説明

<b>domain</b>	(任意) FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ドメインの設定情報を表示します。
<b>default</b>	(任意) FabricPath IS-IS のデフォルトの FabricPath ドメイン情報を表示します。
<b>switch-id</b>	(任意) FabricPath スイッチ ID の設定情報を表示します。
<b>topology</b>	(任意) FabricPath トポロジ情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) デフォルト値を含む、実行コンフィギュレーションを表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath 実行システム コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config fabricpath

!Command: show running-config fabricpath
!Time: Tue Oct 25 07:55:05 2011

version 5.1(3)N1(1)
install feature-set fabricpath
feature-set fabricpath

vpc domain 1
fabricpath domain default

switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

---

■ show running-config fabricpath



## T コマンド

---

この章では、T で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

# topology

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (ISIS) のレイヤ 2 トポロジを設定するには、**topology** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**topology topology-number**

**no topology [topology-number]**

## 構文の説明

*topology-number* トポロジ番号。範囲は 1 ～ 63 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、FabricPath IS-IS トポロジを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# topology 70
switch(config-fabricpath-isis)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fabricpath domain default</b>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。